

お問い合わせはTEL104・8055 東京部中央区築地3・5・10 編集局新潟版 FAX03・55600・8901 広告の申し込み、お問い合わせは03・55600・8850

北越OB J2北九州ルーキー

佐藤喜生

誓う

チームの

起爆剤に



北九州DF佐藤喜生 ©GIRAVANZ

北越高O
BでJ2北九州のルーキー
DF佐藤喜生(22桐蔭横浜大出)がプロ初出場へ向け準備を進めている。新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除を受け、チームは19日から練習を再開。特徴である左足からの正確なロングフィードと鋭い縦パスをアピールし、4年ぶりにJ2を戦うチームの起爆剤になると宣言した。高校、大学と地道な努力を続けた佐藤が、リーグ再開戦からスタメン出場を狙う。



リーグ再開戦からスタメン出場を狙う北九州DF佐藤喜生 ©GIRAVANZ

早くプロデビューしたい
佐藤がプロ初出場へ向け準備を進めている。緊急事態宣言解除を受け、北九州はピッチでの少人数練習を19日から再開。佐藤は「パスは通用する。DF陣で左利きは自分だけなので、アピールしていく」と意気込む。4月5日からの活動休止中は、プロで戦い抜くための体作りに着手。自重トレーニングによる筋力向上と、炭水化物摂取を意識した食事方法で71kgから74kgに体重をアップ。「縦パスや、ロングキックのスピードが向上した」と練習再開初日から筋肉増量の手応えを感じている。

努力続けてプロ入り
2月23日の福岡との開幕戦は、コンディション不良でスタンド観戦。「出場できず悔しかった。早くデビューしたい」。北九州は4年ぶりにJ2に復帰。就任2年目の小林伸二監督(59)のもと、初のJ1昇格を目指している。佐藤は「若手が多く、良い雰囲気練習できている。監督はボジションングなどの細かいところも指導してくれるので成長できている」と明るく話す。

初のJ1昇格を狙う
佐藤は無名の存在からプロ入りを果たした。北越高時代は県選抜に選ばれることはあったが、全国選手権などは県4強が最高。進学した桐蔭横浜大では3年秋から関東大学1部リーグで出場機会を増やしたが、絶対的な主力にはなれなかった。それでも、少ないチャンスを生かし北九州加入を勝ち取った。北越高時代の恩師、荒瀬陽介監督(30)は「ポテンシャルは当時から秘めていたが、大学で相当伸びたと思う。努力を継続することの大切さを体現した。早くプロでのプレーが見たい」と活躍を期待する。

チームの起爆剤に
新型コロナウイルスの影響で、4月18日開催予定だった新潟戦は延期になっている。佐藤は「ビッグスワンでプレーし、アルビに勝つことが新潟への恩返し。その時が来るまですべてにおいてレベルアップする」。大学3年でセカンドチームの「TUUY」と北越高で主将を務めた経験を生かし、初のJ1昇格を狙う北九州を最後方から支える覚悟もできている。「ピッチの上で年齢は関係ない。1年目からDFラインを統率し、J1昇格に貢献できる選手を目指す」と力強く宣言した。【小林忠】



北越高では主将を務めた

U17新潟選抜
◆佐藤喜生(22)・よしき(1997年(平9)11月)

6日生まれ、新潟市出身。国際ユースサッカーin新潟時に、関東大学1部リーグ「ランゼナ新潟FC」JYから「新潟」に転出。初戦のメキシコ準優勝、第68回全日本大学選北越高へ進学し、2年時にU17戦で1得点を挙げるなど、手権大会準優勝・184kg、U17新潟選抜として「第18回」で優勝に貢献。桐蔭横浜大47kg。背番号は29。